

越後長岡

百景 百歌

③

地域に秘められた宝物の風景を公募した
「越後長岡百景」と、その風景にふさわしい
「越後長岡百歌」の短歌を紹介します。

五十ごとうの市

店しまふ刻の迫りて 五・十の市

「まけたまけた」の 声のとびかふ

浅香しげ

五・十の市 昔ながらに 売る八百屋

値引きの札に 淡き雪降る 上村春夫

『おばあちゃんに
連れられて、

五十ごとうの市へ』

私の祖母は、すし屋の娘
だったので、寿司や魚料理
が得意でした。当時、よく
殿町の五十ごとうの市へ一緒に行
きました。魚、果物、花など
が売られていて、色とりど
りの空間でした。なじみの
魚屋のおばあちゃんと話し
こむおばあちゃんの脇で、
慌ただしく行きかう人たち
を眺めていたものでした。
今はスーパーなどで、何で
も買えますが、見た目は悪
くても、新鮮で旬の素材が
並ぶ市の様は、とても輝い
ているように感じます。

ながおか 文(ふみ)の林 平成19年夏号・通巻3号 平成19年5月7日発行

■発行/新潟県長岡地域振興局 新潟県長岡市四郎丸町173-2 電話0258-38-2507 メールアドレス ngt111410@pref.niigata.lg.jp

■編集/ながおか文人会議 ■URL: www.pref.niigata.jp/chiikishinko/nagaoka/shinkoukyoku/oshirase/humi/index.html

■編集スタッフ/安藤哲也/中山俊子/草間友子/立川恭子/塚田清嗣/竹内隆志/丸山典子

■制作・印刷/有めぐみ工房

無償配布です。ご自由にお持ちください。